



2024年12月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2024年5月14日

上場会社名 株式会社ネクソン

上場取引所 東

コード番号 3659 URL https://ir.nexon.co.jp

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 李 政憲

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役最高財務責任者 (氏名) 植村 士朗 (TEL) 03-6629-5318

四半期報告書提出予定日 2024年5月15日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト及びメディア向け電話会議)

(百万円未満四捨五入)

1. 2024年12月期第1四半期の連結業績 (2024年1月1日~2024年3月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第1四半期	108,418	△12.6	29,146	△48.2	54,239	△24.6	35,951	△32.5	35,918	△32.0	68,130	76.7
2023年12月期第1四半期	124,087	36.3	56,275	46.1	71,903	25.7	53,266	32.8	52,791	31.1	38,554	△37.4

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第1四半期	42.77	42.57
2023年12月期第1四半期	61.63	61.10

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2024年12月期第1四半期	1,177,945	964,754	954,167	81.0
2023年12月期	1,098,103	906,575	896,267	81.6

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	ー	5.00	ー	5.00	10.00
2024年12月期	ー				
2024年12月期(予想)		7.50	ー	7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正につきましては、本日(2024年5月14日)公表いたしました「配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2024年12月期第2四半期(累計)の連結業績予想(2024年1月1日~2024年6月30日)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		基本的1株当たり 四半期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
第2四半期(累計)	200,728	△8.1	46,483	△44.6	75,281	△34.4	48,459	△37.6	48,871	△36.8	円 銭
	~	~	~	~	~	~	~	~	~	~	~
	213,149	△2.5	56,849	△32.2	85,650	△25.3	56,544	△27.2	56,777	△26.6	67.63

(注) 2024年12月期の連結業績予想については、現時点で通期の合理的な業績予想の算定が困難であるため、第2四半期(累計)の業績予想のみを開示しております。また、特定の数値による予想が困難であるためレンジ形式での開示を行っております。詳細は、添付資料P.5「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年12月期1Q	840,502,164株	2023年12月期	857,453,260株
② 期末自己株式数	2024年12月期1Q	1,408,694株	2023年12月期	15,809,545株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年12月期1Q	839,805,252株	2023年12月期1Q	856,568,666株

(注) 期末自己株式数には、当社の連結子会社であるStiftelsen Embark Incentive及びNEXON Employee Benefit Trustが保有する当社株式が含まれております（2024年12月期1Q1,408,694株、2023年12月期末1,088,506株）。また、当該連結子会社が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式数に含めております（2024年12月期1Q1,168,553株、2023年12月期1Q787,023株）。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.5「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料は当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	7
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	7
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更	7
3. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	8
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	8
(2) 要約四半期連結損益計算書	10
(3) 要約四半期連結包括利益計算書	11
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	12
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	13
(6) 継続企業の前提に関する注記	15
(7) 表示方法の変更	15
(8) 親会社の所有者に帰属する持分の金額に著しい変動があった場合の注記	15
(9) セグメント情報	16
(10) 後発事象	20

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結会計期間における世界経済は、世界的な金融引締めや中国における不動産市場の停滞に伴う影響による下振れリスク、中東地域の地政学的リスクの高まりなど、先行き不透明な状況が続いております。我が国経済は、不安定な国際情勢による資源・エネルギー価格の高騰や、為替変動による物価の上昇などがあったものの、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続きました。

このような状況の中、当社グループはPCオンライン事業及びモバイル事業を展開し、ユーザーの皆様楽しんでいただける高品質なゲームの開発、コンテンツの獲得、新規ゲームタイトルの配信に努めるとともに、既存ゲームタイトルのアップデートを推し進めてまいりました。具体的には、(i)大規模マルチプレイヤーオンラインゲームへの注力、(ii)PC、コンソール及びモバイル等、あらゆるプラットフォームでのサービス提供、(iii)自社IPの活用、(iv)特別に価値のある新規IPへの投資、を集中戦略として設定し、グローバル事業の成長に取り組んでまいりました。

当第1四半期連結会計期間においては、主力PCオンラインゲーム『アラド戦記』(Dungeon&Fighter)及び『EA SPORTS FC™ ONLINE』が特に好調であった前年同期との比較で減収したことから、売上収益は前年同期比で減少いたしました。

当第1四半期連結会計期間における顧客所在地別の売上収益は、以下のとおりです。

韓国においては、『Wars of Prasia』や『MapleStory Worlds』の増収寄与の一方で、『メイプルストーリー』(MapleStory)及び『EA SPORTS FC™ ONLINE』の減収により、PCオンラインゲームの売上収益が前年同期比で減少いたしました。『メイプルストーリー』(MapleStory)では、売上収益が前年同期比で減少したものの、課金施策を抑えてプレイヤーエンゲージメントを改善する戦略が好影響をもたらし、プレイヤー満足度を示す指標であるネットプロモータースコアは1月から4月の間に14ポイント向上いたしました。『EA SPORTS FC™ ONLINE』については、過去最高の四半期連結会計期間の売上収益を記録した前年同期との比較により、売上収益が減少いたしました。一方、『メイプルストーリー』(MapleStory)のIPを基にしたUGC(User Generated Contents:ユーザー生成コンテンツ)プラットフォームである『MapleStory Worlds』は、直近で人気が高まった結果、売上収益が急激に伸びました。モバイルゲームでは、『Wars of Prasia』の増収寄与があったものの、『HIT2』や『風の王国:Yeon』(The Kingdom of the Winds:Yeon)及び『EA SPORTS FC™ ONLINE M』や『EA SPORTS FC™ MOBILE』が減収となったことから、売上収益は前年同期比で減少いたしました。

中国においては、主力PCオンラインゲーム『アラド戦記』(Dungeon&Fighter)の減収により、売上収益が前年同期比で減少いたしました。『アラド戦記』(Dungeon&Fighter)では、2023年12月下旬以降にゲーム内経済のバランスが悪化してから改善に注力してまいりましたが、バランスを改善し、売上収益とユーザー数を完全に回復させるにはまだ時間を要する見込みです。

日本においては、モバイルタイトルの減収があったものの、『メイプルストーリー』(MapleStory)の成長により、売上収益が前年同期比で横ばいとなりました。

北米及び欧州においては、2023年12月に配信を開始した『THE FINALS』と2023年6月に配信を開始した『デイヴ・ザ・ダイバー』(DAVE THE DIVER)の増収寄与及び『メイプルストーリー』(MapleStory)の成長により、売上収益が前年同期比で大きく成長いたしました。

その他の地域においては、『メイプルストーリー』(MapleStory)の成長及び2023年5月に台湾・香港・マカオで配信を開始した『HIT2』の増収寄与により、売上収益が前年同期比で増加いたしました。

費用面では、従業員数の増加に伴う人件費の増加やクラウドサービス費用の増加により、売上原価が前年同期比で増加いたしました。販売費及び一般管理費は、従業員数の増加に伴い人件費が増加したものの、モバイルゲームに係るプラットフォーム利用料や広告宣伝費の減少により、前年同期比で微減となりました。その他の費用は、当第1四半期連結会計期間において債務超過の持分法適用会社を連結子会社化したことに伴い、のれんの減損損失を認識いたしました。

また、外貨建ての現金預金等で発生した為替差益が前年同期に計上した金額を上回ったことによることと、当該持分法適用会社の連結子会社化により、同社への貸付金及び未収利息に係る損失評価引当金戻入益も併せて認識したことから、前年同期比で金融収益が増加いたしました。

上記の結果、当第1四半期連結累計期間の売上収益は108,418百万円(前年同期比12.6%減)、営業利益は29,146百万円(同48.2%減)、税引前四半期利益は54,239百万円(同24.6%減)、親会社の所有者に帰属する四半期利益は

35,918百万円(同32.0%減)となりました。

報告セグメントの当第1四半期連結累計期間の業績は、次のとおりです。

① 日本

当第1四半期連結累計期間の売上収益は1,542百万円(前年同期比22.6%増)、セグメント損失は785百万円(前年同期は542百万円の損失)となりました。

② 韓国

当第1四半期連結累計期間の売上収益は97,002百万円(前年同期比17.7%減)、セグメント利益は38,800百万円(同35.3%減)となりました。韓国セグメントの売上収益には、子会社であるNEXON Korea Corporationの傘下にあるNEOPLE INC.の中国におけるライセンス供与に係るロイヤリティ収益が含まれます。

③ 中国

当第1四半期連結累計期間の売上収益は1,312百万円(前年同期比21.4%増)、セグメント利益は808百万円(同27.7%増)となりました。

④ 北米

当第1四半期連結累計期間の売上収益は5,732百万円(前年同期比67.0%増)、セグメント損失は1,191百万円(前年同期は1,554百万円の損失)となりました。

⑤ その他

当第1四半期連結累計期間の売上収益は2,830百万円(前年同期比544.7%増)、セグメント損失は2,509百万円(前年同期は1,509百万円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び資本の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は1,177,945百万円であり、前連結会計年度末に比べて79,842百万円増加しております。主な増加要因は、営業債権及びその他の債権の増加(前期末比20,972百万円増)、その他の預金の増加(同38,850百万円増)、その他の金融資産の増加(同33,656百万円増)及び使用権資産の増加(同10,012百万円増)によるものであり、主な減少要因は、現金及び現金同等物の減少(同36,288百万円減)によるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は213,191百万円であり、前連結会計年度末に比べて21,663百万円増加しております。主な増加要因は、リース負債の増加(前期末比9,055百万円増)、未払法人所得税の増加(同7,771百万円増)及び繰延税金負債の増加(同6,301百万円増)によるものです。

(資本)

当第1四半期連結会計期間末における資本の残高は964,754百万円であり、前連結会計年度末に比べて58,179百万円増加しております。主な増加要因は、親会社の所有者に帰属する四半期利益計上に伴う利益剰余金の増加(前期末比35,918百万円増)及び在外営業活動体の換算差額等によるその他の資本の構成要素の増加(同33,934百万円増)によるものです。

これらの結果、親会社所有者帰属持分比率は81.0%(前連結会計年度末は81.6%)となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ36,288百万円減少し、244,227百万円となりました。当該減少には資金に係る為替変動による増加の影響8,715百万円が含まれております。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は12,183百万円(前年同期は28,533百万円の収入)となりました。主な増加要因は、税引前四半期利益54,239百万円によるものであり、主な減少要因は、営業債権及びその他の債権の増加額20,133百万円によるものです。

前年同期と比べて、税引前四半期利益が減少したことにより、営業活動による収入が減少いたしました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は45,305百万円(前年同期は112,126百万円の支出)となりました。主な支出要因は、定期預金の純増加額38,536百万円及び有価証券の取得による支出4,575百万円によるものです。

前年同期と比べて、定期預金への預入れと持分法で会計処理されている投資の取得による支出が減少したことにより、投資活動による支出が減少いたしました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は11,881百万円(前年同期は32,314百万円の支出)となりました。主な支出要因は、自己株式の取得による支出7,759百万円及び配当金の支払額4,109百万円によるものです。

前年同期と比べて、自己株式の取得による支出が減少したことにより、財務活動による支出が減少いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループを取り巻く事業環境は、世界的な金融引締めや中国における不動産市場の停滞に伴う影響による下振れリスク、中東地域をめぐる地政学的リスクの高まりなど、先行き不透明な状況が続いております。ただし、それらを起因として、当社グループの事業に重大な影響を与えるような事象が発生することは予想していません。

連結業績予想につきましては、当社グループの主力事業であるPCオンラインゲーム及びモバイルゲーム市場は、成長速度を予測することが難しく、ユーザーの嗜好や人気タイトルの有無などの不確定要素に収益が大きく左右されることから、通期の連結業績予想を算出することが困難であり、株主と投資家の皆様により正確な情報を提供するために、翌四半期の業績予想をレンジ形式により開示させていただいております。なお、「2024年12月期第2四半期(累計)の連結業績予想」は2024年12月期第1四半期連結累計期間の実績値に第2四半期連結会計期間の連結業績予想を加算したものとなっております。2024年12月期第2四半期連結会計期間の業績予想については、下表をご参照ください。

当社グループにおける2024年12月期第2四半期連結累計期間の連結業績予想は、売上収益200,728～213,149百万円(前年同期比8.1%～2.5%減)、営業利益46,483～56,849百万円(同44.6%～32.2%減)、税引前利益75,281～85,650百万円(同34.4%～25.3%減)、四半期利益48,459～56,544百万円(同37.6%～27.2%減)、親会社の所有者に帰属する四半期利益48,871～56,777百万円(同36.8%～26.6%減)、基本的1株当たり四半期利益58.21～67.63円となっております。当社グループは、日本、韓国、中国、米国をはじめとして、世界中で事業を運営しております。第2四半期連結会計期間の取引における主要な為替レートは1ドル＝153.85円、100ウォン＝11.24円、1中国元＝21.51円と想定しております。一般に韓国ウォンも中国人民元も米国ドルと連動して為替は推移します。このことを前提とし、為替レートの当社グループ業績への影響度に関して、当社が想定するドル円の為替レートに対して1円為替が変動した場合、第2四半期連結会計期間は売上収益が約630百万円、営業利益が約164百万円変動するものと当社では推定しております。

第2四半期連結会計期間における売上収益は、顧客所在地別で以下のように見込んでおります。

韓国のPCオンラインゲームでは、『メイプルストーリー』(MapleStory)において、プレイヤーセンチメント及び満足度の改善を最優先とした対応が早い段階で好影響をもたらしました。その結果、『メイプルストーリー』(MapleStory)の売上収益は前年同期の水準に戻り、通常は季節性により減収することが多いものの前四半期比で増収することを見込んでおります。一方、『EA SPORTS FC™ ONLINE』は安定的であるものの、過去最高の第2四半期連結会計期間の売上収益を達成した前年同期との比較で減収することを見込んでおります。加えて、2023年3月30日に配信を開始したモバイル・PCクロスプラットフォーム対応の『Wars of Prasia』が、配信開始直後で非常に好調であった前年同期との比較において大幅に減収することを見込んでおります。その結果、韓国のPCオンラインゲームの売上収益は前年同期比で減少することを予想しております。

韓国のモバイルゲームでは、『Wars of Prasia』、『HIT2』などの減収により、売上収益が前年同期比で減少することを予想しております。

中国では、主力PCオンラインゲーム『アラド戦記』(Dungeon&Fighter)の売上収益が早急には回復しないものの、『アラド戦記モバイル』(Dungeon&Fighter Mobile)の配信を2024年5月21日に開始することから、売上収益が前年同期比で大幅に成長することを予想しております。PCオンラインゲームの『アラド戦記』(Dungeon&Fighter)については、ゲーム内経済バランスの改善に注力しているものの、更なる改善が必要であり、今後数か月で対応してまいります。労働節アップデートのパッケージ販売が前年同期と比べ低調であることから減収を見込んでおりますが、第2四半期連結会計期間以降においても継続的にコンテンツアップデートを実施することにより、ゲーム内経済を更に改善させる予定です。

日本では、『HIT2』の日本向けサービスである『HIT : The World』を2024年4月17日に配信を開始したことから、売上収益が前年同期比で大幅に増加することを予想しております。また、『メイプルストーリー』(MapleStory)及び『ブルーアーカイブ』(Blue Archive)も前年同期比で成長を見込んでおります。

北米及び欧州では、2023年12月に配信を開始した『THE FINALS』の増収寄与及び『メイプルストーリー』(MapleStory)の成長により、売上収益が前年同期比で大幅に増加することを予想しております。

その他の地域では、『メイプルストーリー』(MapleStory)の成長を見込む一方で、『HIT2』が配信開始直後で非常に好調であった前年同期との比較において減収することを見込んでいることから、売上収益が前年同期比で減少することを予想しております。

第2四半期連結会計期間における費用面では、主に従業員数の増加や第1四半期連結会計期間に実施した持分法適

用会社の連結子会社化に伴う人件費の増加及びクラウドサービス費用の増加を見込んでおります。また、連結子会社の売却に伴う子会社株式売却損をその他の費用に見込んでおります。これにより、第2四半期連結会計期間の費用は前年同期比で増加することを予想しております。

業績見通しについては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでいるため、実績値は業況の変化などにより予想数値と異なる可能性があります。

(参考)

2024年12月期第2四半期の連結業績予想(2024年4月1日～2024年6月30日)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		基本的1株当たり四半期利益 円 銭
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
第2四半期	92,310	△2.3	17,337	△37.2	21,042	△50.9	12,508	△48.9	12,952	△47.2	15.44
	～	～	～	～	～	～	～	～	～	～	～
	104,731	10.9	27,703	0.3	31,410	△26.7	20,593	△15.8	20,858	△15.0	24.86

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

(IFRSにより要求される会計方針の変更)

当社グループが本要約四半期連結財務諸表において適用する重要性がある会計方針は、特段の記載がない限り、以下の新たに適用する基準を除いて、前期の連結財務諸表において適用した会計方針と同一です。なお、当第1四半期連結累計期間の法人所得税費用は、見積平均年次実効税率を基に算定しております。

当社グループは、当第1四半期連結会計期間より以下の基準を適用しております。これらについては、当第1四半期連結累計期間において重要な影響はありません。

基準書	基準書名	新設・改訂の概要
IAS第1号	財務諸表の表示	<ul style="list-style-type: none"> 債務及び他の負債を流動又は非流動にどのように分類するかを明確化 特約条項付の非流動負債に関して企業が提供する情報を改善するためのもの
IFRS第16号	リース	<ul style="list-style-type: none"> セール・アンド・リースバック取引を取引後にどのように会計処理するのかを説明する要求事項を追加するもの
IAS第7号 IFRS第7号	キャッシュ・フロー計算書 金融商品：開示	<ul style="list-style-type: none"> サプライヤー・ファイナンスの透明性を増進するための開示要求

3. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	280,515	244,227
営業債権及びその他の債権	37,873	58,845
その他の預金	316,243	355,093
その他の金融資産	41,582	43,466
その他の流動資産	13,293	19,686
流動資産合計	689,506	721,317
非流動資産		
有形固定資産	28,854	29,323
のれん	43,924	44,809
無形資産	17,847	25,612
使用権資産	24,000	34,012
持分法で会計処理されている投資	58,120	61,692
その他の金融資産	179,199	210,971
その他の非流動資産	754	724
繰延税金資産	55,899	49,485
非流動資産合計	408,597	456,628
資産合計	1,098,103	1,177,945

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
仕入債務及びその他の債務	16,332	18,564
繰延収益	21,065	20,414
未払法人所得税	17,932	25,703
リース負債	5,634	6,618
引当金	11,839	6,543
その他の流動負債	16,572	19,469
流動負債合計	89,374	97,311
非流動負債		
繰延収益	15,207	15,114
リース負債	24,090	32,161
その他の金融負債	1,072	1,219
引当金	325	485
その他の非流動負債	9,711	8,851
繰延税金負債	51,749	58,050
非流動負債合計	102,154	115,880
負債合計	191,528	213,191
資本		
資本金	47,510	48,228
資本剰余金	26,719	27,475
自己株式	△45,046	△2,800
その他の資本の構成要素	159,857	193,791
利益剰余金	707,227	687,473
親会社の所有者に帰属する持分合計	896,267	954,167
非支配持分	10,308	10,587
資本合計	906,575	964,754
負債及び資本合計	1,098,103	1,177,945

(2) 要約四半期連結損益計算書

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
売上収益	124,087	108,418
売上原価	△34,233	△40,557
売上総利益	89,854	67,861
販売費及び一般管理費	△32,883	△32,723
その他の収益	344	199
その他の費用	△1,040	△6,191
営業利益	56,275	29,146
金融収益	14,075	25,680
金融費用	△422	△518
再評価による損失の戻入	2,719	692
持分法による投資損失	△744	△761
税引前四半期利益	71,903	54,239
法人所得税費用	△18,637	△18,288
四半期利益	53,266	35,951
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	52,791	35,918
非支配持分	475	33
四半期利益	53,266	35,951
1株当たり四半期利益 (親会社の所有者に帰属)		
基本的1株当たり四半期利益	61.63円	42.77円
希薄化後1株当たり四半期利益	61.10円	42.57円

(3) 要約四半期連結包括利益計算書

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
四半期利益	53,266	35,951
その他の包括利益		
純損益に振替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産	△1,558	14,014
確定給付型年金制度の再測定額	1	△2
無形資産再評価益	—	7,037
持分法によるその他の包括利益	△303	795
法人所得税	398	△6,708
純損益に振替えられることのない 項目合計	△1,462	15,136
純損益にその後に振替えられる可能性の ある項目		
在外営業活動体の換算差額	△13,250	17,043
純損益にその後に振替えられる可能性 のある項目合計	△13,250	17,043
その他の包括利益合計	△14,712	32,179
四半期包括利益	38,554	68,130
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	38,294	67,905
非支配持分	260	225
四半期包括利益	38,554	68,130

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配 持分	資本合計
	資本金	資本 剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	利益 剰余金			
資本(期首)	38,972	18,331	△16,464	114,012	703,342	858,193	9,353	867,546
四半期利益	—	—	—	—	52,791	52,791	475	53,266
その他の包括利益	—	—	—	△14,497	—	△14,497	△215	△14,712
四半期包括利益合計	—	—	—	△14,497	52,791	38,294	260	38,554
新株の発行	1,598	1,598	—	—	—	3,196	—	3,196
新株発行費用	—	△9	—	—	—	△9	—	△9
配当金	—	—	—	—	△4,308	△4,308	—	△4,308
株式に基づく報酬取引	—	—	—	△430	—	△430	—	△430
支配継続子会社に対する 持分変動	—	37	—	—	—	37	42	79
自己株式の取得	—	△3	△29,568	—	—	△29,571	—	△29,571
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	—	—	—	629	△629	—	—	—
所有者との取引額等合計	1,598	1,623	△29,568	199	△4,937	△31,085	42	△31,043
資本(期末)	40,570	19,954	△46,032	99,714	751,196	865,402	9,655	875,057

当第1四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配 持分	資本合計
	資本金	資本 剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	利益 剰余金			
資本(期首)	47,510	26,719	△45,046	159,857	707,227	896,267	10,308	906,575
四半期利益	—	—	—	—	35,918	35,918	33	35,951
その他の包括利益	—	—	—	31,987	—	31,987	192	32,179
四半期包括利益合計	—	—	—	31,987	35,918	67,905	225	68,130
新株の発行	718	718	—	—	—	1,436	—	1,436
新株発行費用	—	△6	—	—	—	△6	—	△6
配当金	—	—	—	—	△4,214	△4,214	—	△4,214
株式に基づく報酬取引	—	—	—	489	—	489	—	489
新株予約権の失効	—	—	—	△5	5	—	—	—
支配継続子会社に対する 持分変動	—	49	—	—	—	49	54	103
自己株式の取得	—	△5	△7,754	—	—	△7,759	—	△7,759
自己株式の消却	—	—	50,000	—	△50,000	—	—	—
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	—	—	—	1,463	△1,463	—	—	—
所有者との取引額等合計	718	756	42,246	1,947	△55,672	△10,005	54	△9,951
資本(期末)	48,228	27,475	△2,800	193,791	687,473	954,167	10,587	964,754

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	71,903	54,239
減価償却費及び償却費	1,764	2,422
株式報酬費用	537	797
受取利息及び受取配当金	△5,180	△5,762
支払利息	300	453
減損損失	1,026	6,161
再評価による損失の戻入	△2,719	△692
持分法による投資損益 (△は益)	744	761
有価証券評価損益 (△は益)	△2,872	△2,957
有価証券売却及び償還損益 (△は益)	△325	△525
為替差損益 (△は益)	△4,145	△8,122
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△32,230	△20,133
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	283	△6,747
仕入債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	696	1,831
繰延収益の増減額 (△は減少)	1,320	△449
引当金の増減額 (△は減少)	△6,259	△5,484
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	4,923	1,416
損失評価引当金の増減額 (△は減少)	18	△5,697
その他	333	△1,689
小計	30,117	9,823
利息の受取額	3,262	4,902
配当金の受取額	544	759
利息の支払額	△299	△448
法人所得税の支払額	△5,091	△2,853
営業活動によるキャッシュ・フロー	28,533	12,183
投資活動によるキャッシュ・フロー		
拘束性預金の純増減額 (△は増加)	0	△12
定期預金の純増減額 (△は増加)	△82,763	△38,536
有形固定資産の取得による支出	△458	△818
有形固定資産の売却による収入	7	10
無形資産の取得による支出	△1,318	△681
長期前払費用の増加を伴う支出	△219	△204
連結子会社である投資ファンドを通じた有価証券の取得による支出	△4,924	△3,315
連結子会社である投資ファンドを通じた有価証券の売却による収入	6,372	5,100
有価証券の取得による支出	△5,248	△4,575
有価証券の売却及び償還による収入	1,839	866
持分法で会計処理されている投資の取得による支出	△23,506	△2,016
短期貸付金の貸付による支出	—	△671
長期貸付金の貸付による支出	△1,518	△901
長期貸付金の回収による収入	4	4
その他	△394	444
投資活動によるキャッシュ・フロー	△112,126	△45,305

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
ストック・オプションの行使による収入	2,326	1,033
自己株式の取得による支出	△29,571	△7,759
配当金の支払額	△4,308	△4,109
リース負債の返済による支出	△761	△1,046
財務活動によるキャッシュ・フロー	△32,314	△11,881
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△115,907	△45,003
現金及び現金同等物の期首残高	409,368	280,515
現金及び現金同等物に係る為替変動による影響	△1,796	8,715
現金及び現金同等物の四半期末残高	291,665	244,227

(6) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(7) 表示方法の変更

(要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書)

前第1四半期連結累計期間において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「利息及び配当金の受取額」に集約して記載しておりました「利息の受取額」及び「配当金の受取額」は、金額的に重要性が増したため、当第1四半期連結累計期間より独立掲記することとしております。この表示方法の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間の要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書の組替えを行っております。

この結果、前第1四半期連結累計期間の要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「利息及び配当金の受取額」に表示しておりました3,806百万円は、「利息の受取額」3,262百万円、「配当金の受取額」544百万円に、それぞれ組み替えております。

(8) 親会社の所有者に帰属する持分の金額に著しい変動があった場合の注記

① 前第1四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)

イ. 配当金支払額

	株式の種類	配当金の総額 百万円	1株当たり 配当額 円	基準日	効力発生日
2023年2月16日 取締役会決議	普通株式	4,308	5.0	2022年12月31日	2023年3月27日

(注) 配当金の総額には、当社の連結子会社であるStiftelsen Embark Incentiveが保有する当社株式に対する配当金4百万円が含まれております。

ロ. 自己株式の取得

当社は、2022年11月9日の取締役会決議に基づき、前第1四半期連結累計期間において自己株式9,803,200株を取得したことにより、自己株式が29,568百万円増加いたしました。

② 当第1四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)

イ. 配当金支払額

	株式の種類	配当金の総額 百万円	1株当たり 配当額 円	基準日	効力発生日
2024年2月21日 取締役会決議	普通株式	4,214	5.0	2023年12月31日	2024年3月28日

(注) 配当金の総額には、当社の連結子会社であるStiftelsen Embark Incentive及びNEXON Employee Benefit Trustが保有する当社株式に対する配当金3百万円及び2百万円がそれぞれ含まれております。

ロ. 自己株式の取得

当社は、2023年11月9日の取締役会決議に基づき、当第1四半期連結累計期間において自己株式2,818,700株を取得したことにより、自己株式が7,754百万円増加いたしました。

ハ. 自己株式の消却

当社は、2024年2月8日の取締役会決議に基づき、当第1四半期連結累計期間において自己株式17,539,739株を消却したことにより、自己株式及び利益剰余金がそれぞれ50,000百万円減少いたしました。

(9) セグメント情報

① 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、PCオンラインゲーム及びモバイルゲームの制作・開発、配信を行っており、取扱う商品・サービスについて国内においては当社、海外においては現地連結子会社が、それぞれ独立した経営単位として各地域における包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。したがって、当社グループは、PCオンラインゲーム及びモバイルゲームの制作・開発、配信を基礎とした各社の所在地別の事業セグメントから構成されております。なお、当社グループは、所在地ごとの各子会社における事業の特性などから、為替の変動が業績に与える影響が類似しており、かつその影響の業績に占める割合も大きいことから、各社の所在地別に事業セグメントを集約することで、報告セグメントを作成しております。報告セグメントは「日本」、「韓国」、「中国」、「北米」及び「その他」の5つとしており、「その他」の区分には欧州及びアジア諸国が含まれております。

また、当社グループは、IFRS第15号「顧客との契約から生じる収益」を適用しております。これにより、当社グループは、顧客との契約から生じる収益を顧客との契約に基づき、PCオンライン、モバイル及びその他に収益を分解表示しております。

② 報告セグメントの収益及び損益

当社グループのセグメント情報は次のとおりです。

前第1四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)

	報告セグメント					計	調整額 (注3)	連結
	日本	韓国	中国	北米	その他			
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売上収益								
外部収益								
PCオンライン	970	88,137	1,081	2,024	434	92,646	—	92,646
モバイル	287	29,323	—	1,407	—	31,017	—	31,017
その他	1	417	—	1	5	424	—	424
外部収益 計	1,258	117,877	1,081	3,432	439	124,087	—	124,087
セグメント間収益	247	1,526	—	222	250	2,245	△2,245	—
計	1,505	119,403	1,081	3,654	689	126,332	△2,245	124,087
セグメント利益又は損失 (注1)	△542	59,945	633	△1,554	△1,509	56,973	△2	56,971
その他の収益・費用 (純額)								△696
営業利益								56,275
金融収益・費用(純額) (注5)								13,653
再評価による損失の戻入 (注6)								2,719
持分法による投資損失								△744
税引前四半期利益								71,903

(注) 1. セグメント利益又は損失は、売上収益から売上原価及び販売費及び一般管理費を控除しております。

2. セグメント間の内部取引価格は、一般的な市場価格に基づいております。

3. セグメント利益又は損失の調整額△2百万円は、セグメント間取引消去です。

4. PCオンライン及びモバイルについては、主に役務に対する支配が一定期間にわたり移転するため、一定の期間にわたり履行義務を充足し収益を認識しております。

5. 金融収益の主な内訳は、為替差益5,639百万円です。

6. 無形資産(取引所を通じて行った暗号資産に対する投資)の再評価により、純損益に認識された再評価の損失の戻入です。

当第1四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)

	報告セグメント					計	調整額 (注3)	連結
	日本	韓国	中国	北米	その他			
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売上収益								
外部収益								
PCオンライン	1,287	69,390	1,312	4,076	2,823	78,888	—	78,888
モバイル	254	27,214	—	1,653	—	29,121	—	29,121
その他	1	398	—	3	7	409	—	409
外部収益 計	1,542	97,002	1,312	5,732	2,830	108,418	—	108,418
セグメント間収益	201	1,896	—	348	487	2,932	△2,932	—
計	1,743	98,898	1,312	6,080	3,317	111,350	△2,932	108,418
セグメント利益又は損失 (注1)	△785	38,800	808	△1,191	△2,509	35,123	15	35,138
その他の収益・費用 (純額)								△5,992
営業利益								29,146
金融収益・費用(純額) (注5)								25,162
再評価による損失の戻入 (注6)								692
持分法による投資損失								△761
税引前四半期利益								54,239

(注) 1. セグメント利益又は損失は、売上収益から売上原価及び販売費及び一般管理費を控除しております。

2. セグメント間の内部取引価格は、一般的な市場価格に基づいております。

3. セグメント利益又は損失の調整額15百万円は、セグメント間取引消去です。

4. PCオンライン及びモバイルについては、主に役務に対する支配が一定期間にわたり移転するため、一定の期間にわたり履行義務を充足し収益を認識しております。

5. 金融収益の主な内訳は、為替差益10,653百万円及び持分法適用会社の連結子会社化により認識した、同社への貸付金及び未収利息に係る損失評価引当金戻入益5,663百万円です。

6. 無形資産(取引所を通じて行った暗号資産に対する投資)の再評価により、純損益に認識された再評価の損失の戻入です。

③ 地域ごとの情報

外部顧客からの売上収益は、次のとおりです。

前第1四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)

	事業別の売上収益			合計 百万円
	PCオンライン 百万円	モバイル 百万円	その他 百万円	
主な地域市場				
日本	993	2,605	11	3,609
韓国	42,997	21,577	368	64,942
中国	42,935	145	—	43,080
北米及び欧州	1,947	3,194	15	5,156
その他	3,774	3,496	30	7,300
合計	92,646	31,017	424	124,087

- (注) 1. 売上収益は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。
 2. 国又は地域の区分は地理的近接度によっております。
 3. 各区分に属する主な国又は地域
 (1) 北米及び欧州：米国、カナダ及び欧州
 (2) その他：中南米及びアジア諸国

当第1四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)

	事業別の売上収益			合計 百万円
	PCオンライン 百万円	モバイル 百万円	その他 百万円	
主な地域市場				
日本	1,400	2,217	13	3,630
韓国	40,586	16,381	373	57,340
中国	26,716	2,466	△0	29,182
北米及び欧州	5,289	4,623	7	9,919
その他	4,897	3,434	16	8,347
合計	78,888	29,121	409	108,418

- (注) 1. 売上収益は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。
 2. 国又は地域の区分は地理的近接度によっております。
 3. 各区分に属する主な国又は地域
 (1) 北米及び欧州：米国、カナダ及び欧州
 (2) その他：中南米及びアジア諸国

(10) 後発事象

(自己株式の取得)

当社は、2024年5月14日の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項について決議いたしました。

① 自己株式の取得を行う理由

資本効率の向上と資本政策の柔軟性を確保するため。

② 取得に係る事項の内容

- | | |
|----------------|--|
| (a) 取得する株式の種類 | 当社普通株式 |
| (b) 取得し得る株式の総数 | 15,000,000株(上限)
(2024年4月30日現在の発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合1.8%) |
| (c) 株式の取得価額の総額 | 30,000百万円(上限) |
| (d) 取得期間 | 2024年5月15日～2024年7月19日 |
| (e) 取得方法 | 東京証券取引所における市場買付 |